

## 雨・風・悪路、それでも挑戦！

～ 第15回鳥海山グルッと一周MTBサイクリング～



みんな、無事「にかほっと」に帰ってこいよ～！

10月9日、第15回鳥海山グルッと一周MTB（マウンテンバイク）サイクリングが開催され、己の体力の限界に挑戦する強者が集いました。

鳥海山の裾野に位置する由利本荘市・酒田市・遊佐町、そしてにかほ市の3市1町を走破する、その名のとおりグルッと一周の全長約160kmは難関コースとして有名。

早朝5時30分、参加者の体力を容赦なく奪うように雨が降りしきるなか、暗闇を明るく照らしてくれる市観光拠点センター「にかほっと」を背に118人が過酷なコースに挑んでいきました。

## 暮らしを彩るクラフトがたくさん！

～ にかほっとクラフト市2016～

10月15、16日、にかほっと前広場を会場に、にかほっとクラフト市2016（にかほっとイベント実行委員会主催）が開催され、県内外から皮革加工品や木工品、ガラス細工のアクセサリなどを扱う15店舗が出店し、訪れた来場者を楽しませました。

秋の行楽シーズンでもあり、また、両日ともに好天にも恵まれたことから、多くの来場者が詰めかけ、さまざまな感性で作られた作品に目をとめていました。

また、身近な物を利用した体験型店舗の出店もあり、訪れた子ども連れの家族に大人気の様子でした。



体験型の店舗もあり、子ども達に大人気

## 県境区間の早期開通を目指して

～ 日本海沿岸東北自動車道 遊佐象潟道路安全祈願祭～



安全を祈って鉄入れや玉串奉天などの神事を行う

10月16日、日本海沿岸東北自動車道の山形県と秋田県を結ぶ区間となる遊佐象潟道路の安全祈願祭が行われ、関係者約50人が出席し建設工事中の無事故・無災害を祈りました。

遊佐象潟道路は、遊佐鳥海IC（仮称）と象潟IC間の17.9kmを結ぶ道路であり、片側1車線で、区間中4カ所のインターチェンジが整備予定で、本市側では小砂川ICが設置されることになっています。

開通時期は未定ながらも沿線地域の活性化が期待されることから一日も早い開通が望まれます。



演説する榎栄田 佐藤取締役営業本部長（写真・左上）

## 山形・秋田の架け橋として

～ 日本海沿岸東北自動車道山形・秋田県境区間建設促進大会～

10月1日、山形県遊佐町・鳥海温泉遊楽里で日本海沿岸東北自動車道山形・秋田県境区間建設促進大会が開催され多くの参加者で会場は満員となりました。

日沿道は昨年、象潟～金浦間が開通し、山形・秋田の県境区間をつなぐ「遊佐象潟道路」の開通が悲願となっています。この日は、東北公益文科大学の吉村学長の基調講演の後、にかほ市の榎栄田・佐藤取締役営業本部長の意見発表がありました。佐藤部長は「秋田・東京間は物流コストの削減が課題であり、そのため未開通区間の早期開通が期待される」と語っていました。

## 9区間総距離31.5km 全力で思いを繋ぐ

～ 第3回 秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！～

10月2日、大館市で秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！が開催され、にかほ市を代表する小学生から一般までの選手が、日々励んだ練習の成果を発揮すべく出場しました。3回目となる今回は、大館樹海ドームを発着点とする市内循環の特設コースで、沿道から多くの声援が飛び交うなか、にかほ市チームは序盤から積極的なレースを展開。一分一秒を削るため全力で駆け抜けましたが、出場34チーム中26位という成績で、上位進出とはなりません。来年は、上位入賞を目指す選手の頑張りに期待しましょう。



9区間を1時間59分36秒でつなぎました

## 豊かな森の持続こそが大切

～ 鳥海山・飛島ジオパーク環境保全フォーラム2016～

10月4日、仁賀保勤労青少年ホームで鳥海山・飛島ジオパーク環境保全フォーラム2016が開催されました。9月9日に日本ジオパークの認定を受け、今後の地域振興、そして環境保全を図っていくにあたって足掛りとなる本フォーラムには多くの聴講者が参加しました。

基調講演では、東京大学名誉教授・太田猛彦氏が「豊かな森をいかにして持続するか」と題して、日本の豊かな森の歴史と持続させる大切さを語りました。また、後半はジオパークに関する団体などによる「森づくりとジオパーク活動」のパネルトークも行われました。



パネルトーク。活動は多様でも目指すものは同じ！